

## 020 中島町区有文書と目録作成について

1 中島村は千曲川右岸にあって、千曲川や市川・鮎川・百々川の氾濫による洪水被害にさらされてきている。河川氾濫後の土手・堤の川除け普請には、関係する村々が費用を出し合っており、ときには村単独で修復工事・築堤をすすめてきている。

百々川や鮎川の氾濫に備えては、九反田・福島分地境に水除け堤（一夜堤防ともいわれる）、囲い堤を設けて、村の自営普請をおこなってきたことも中島村を特色づけている。すでに、明和期には、砂泥が堆積したために、福島村方面から流れてきていた百々川の水が流れなくなった形跡が絵図上には認められる。それ以降、郷五郎池（権五郎川）から通じていた百々川が退化・消滅している。そのため、洪水時の逆流をめぐって、福島村との係争を生起させている。

2 当町の区有文書は、明治 20（1887）年堀内六兵衛外 17 人の村内有力者が整理し、近藤五郎兵衛に預け、虫干しをするなど「嚴重ニ保護」してほしいとしている。以後、史料の若干の移動・不在は認められるものの、区民の文書に寄せる並々ならぬ関心により現在に遺されてきている。

中島村には、堀内六兵衛家所蔵文書の存在が知られている。そのなかには慶長・元和期の検地帳があり、中島村の歴史を解明する史料として重要であるが、中島町区有文書の内容は豊富で、

その検討なしには、中島村の歴史を解明することはできない。それほど区民にとってはかけがえのない基礎史料が保管されてきている。

3 天保期以降幕末期の中島村は、石高およそ 445 石で、家数・人数は、明和 5（1768）年 63 戸・324 人、明治 5（1872）年には 95 戸・451 人であった。現在（2005 年国勢調査）は、135 世帯・465 人となっており、明治以降の人口増加はほとんどみられない。

ここに登場する中島村域の人々は、生きて育った故郷、地域の生きざまを累々として記録し、当区有文書として遺し、いまに伝えている。

4 ここでは、当区有文書を、『須坂市中島町区有文書目録』として作成する。『須坂市域の史料目録』の連番整理番号「020」（20 番目）に位置付け、史料番号は「020 - A - 1」から開始し、整理ラベルを添付した。

当文書目録は、史料内容の特徴を生かして、つぎのように分類して史料目録を作成した。区有文書の総史料点数は 1115 点にのぼっている。

分類項目	史料番号	史料点数
A 江戸期	53	573
B 明治大正期	55	271
C 昭和期～	173	209
D 絵地図	62	62
合計	343	1115

5 中島町区民が遺し、後世に伝えてきた史料には、寛保2(1742)年から明治7(1874)年までの年貢割付状・同皆済目録201点がある。それ以前の寛永年間の年貢割付状が存在したという『須坂市史』の指摘もあるが、本史料目録中には見当たらない。

安永9(1780)年以降慶応期までの川除け普請出来形帳、天保期には田畑起返し手当金割渡し帳(12年間分)が残されているのも特徴的である。明治以降では、地租改正関係史料のほか、大正期の新百々川改修工事(暗渠排水工事ほか)や賦銭大賦銭取調帳関係史料もみられる。

どの史料をみても先人の生きざまを現代に伝える貴重なものとなっている。

6 本史料目録が、中島町区民をはじめ須坂市民ほか多くの地域史研究者によって活用されることを願ってやまない。とともに、当区有文書の史料調査・研究を深めて、新たな中島町区民の歴史を開拓し、区民の歴史を叙述・編さんされて、子々孫々に伝えられることを期待したい。

7 史料目録の作成にあたっては、史料の現状・存在形態を尊重しつつ史料閲覧者の便宜も考慮して、つぎのようにした。

(1) 明治20年に整理し分類した、クラフト紙袋入り史料は、原則とし形状を崩さないでそのままとし、袋入り文書の原史料名を目録上に記載することとし、活用の便をはかった。

(2) なお、袋入り文書に表書きされてはいるものの中味不在文書もあり、目録中に載せられない史料もあったことも明記しておく。

(3) 史料名は原則として史料中に記載された原表題を記載したが、無表題史料などには、つぎのように( )をもちいて仮表題を作成し掲げた。

(畑荒地調べ) (御普請立会い絵図面)

(4) 「記」、「覚」のみで内容未記載の史料については、つぎのように( )内に内容説明を記載したのものもある。

記(祭典関係領収書) 覚(土地借用書類)

(5) 請取りなど切手類の史料は、便宜的に括って整理したものもある。その場合は、つぎのように一枚目の史料名を記し、他の史料については「外○点」などと略記した。

記(上納金領収書)、外12点 地所登記済証下付願、外7点

(6) 史料形態については、つぎのように略記した。

横(横帳)、横半(横半帳)、縦(縦帳)、紙(一紙)、  
封(封書)、冊(冊子)、綴(ジョイント含む)、括、など

8 本史料目録は、中島町のご理解とご協力を得て、須坂市誌編さん室の下記専門員が分担して作成した。

勝山一男 小林 裕 丸山文雄 井上光由  
竹内正勝 涌井二夫 青木廣安

(編さん担当：青木廣安・丸山文雄)

2010年8月25日

さん室